

対象年度		令和 6年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート													
事務事業名		スポーツ活動支援事業						予算事業名		スポーツ活動支援事業費							
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令								
				10	06	01	04	経常経費	スポーツ基本法								
総合計画体系		未来を担う子どもと 生き生きした市民を育む地域を目指そう						事業の区分		主要事業							
		誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進															
		スポーツ活動を推進する人材の育成・支援						担当課係等		スポーツ振興課							
事業期間		継続 (年度～ 年度)										スポーツ振興係					
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】									
スポーツ団体や指導者の育成を図ることで継続的かつ充実したスポーツ活動を推進する。								各市町村で、スポーツ協会やスポーツ少年団をはじめとしたスポーツ活動に補助金を通して支援している。また、スポーツ基本法などに基づき、推進委員の委嘱を行っている。									
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】									
・スポーツ振興のための各種補助金の交付 令和6年度から、各種目の普及・発展、部活動地域移行などに鑑み拡充する。 ・スポーツ推進委員の委嘱（2年に1回）、連絡協議会の設置及び運営支援 ・スポーツ推進委員の各種研修会等への参加促進 ・トップアスリートを目指す選手の育成支援事業の検討								・市内の小中学生、市民全般 ・スポーツ団体所属者等 ・結城市スポーツ協会 ・結城市スポーツ少年団									
								【事業をとりまく環境の変化】									
								・市民のニーズが多様化しているため、様々なスポーツを紹介できる機会の充実とそれを支える、スポーツ推進委員の質の向上と知名度アップを図らなければならない。 ・スポーツ協会やスポーツ少年団等の各団体は、独自で大会やイベントを開催するなど積極的に活動しているため、効果的に支援しなければならない。									
【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】									
スポーツ振興のための補助金の交付（新規・拡充あり） スポーツ推進委員の委嘱・活動促進				スポーツ振興のための補助金の交付 スポーツ推進委員の活動促進				スポーツ振興のための補助金の交付 スポーツ推進委員の委嘱・活動促進									
■事業費																	
				R04年度		R05年度											
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0										
	県		支	出	金	0	0										
	地		方		債	0	0										
	そ		の		他	0	0										
	一		般	財	源	2,655	2,900										
歳入計（千円）				2,655		2,900											
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）				金額（千円）		金額（千円）										
	01	報酬			486		540										
	08	旅費			0		51										
	10	需用費			0		10										
	13	使用料及び賃借料			2		53										
	18	負担金補助及び交付金			2,167		2,246										
歳出計（千円）（A）				2,655		2,900											
伸び率（％）						9.22											
備考	総合計画 104ページ 予算書 197ページ																

令和 4年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R04年度	R05年度	R06年度
活動 指標	ボランティア募集事業数	回	目標	2.00	2.00	2.00
			実績	0.00	0.00	0.00
	スポーツ推進委員事業実施回数	回	目標	10.00	10.00	10.00
			実績	2.00	0.00	0.00
成果 指標	市内スポーツイベント協力者数	人	目標	280.00	440.00	450.00
	各団体等からのスポーレクリエーション祭・シルクカップロードレース大会ボランティア数		実績	429.00	0.00	0.00
	スポーツ推進委員事業参加者数	人	目標	200.00	400.00	500.00
			実績	317.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	幅広い年代の自主的なスポーツ活動を支援する。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市は地域の特性に応じた施策を策定し実施する義務がある。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在の方法が一般的である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらも言えない	効率的に進めているが改善の余地はある。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	積極的にスポーツに取り組む市民を公平に支援できている。
有効性	成果向上の余地	B どちらも言えない	支援を拡充することで成果を向上できる。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	市民のスポーツ活動のニーズに応えられている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
指導者や団体構成員の固定化・高齢化が進んでおり、育成や発掘が必要である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
スポーツ協会やスポーツ少年団は市民の自主的なスポーツ活動を促進する団体であるので、支援の拡充を図る。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☒ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 中学校部活動の地域移行の取組において、スポーツを支える指導者が求められ、育成と体制づくりを支援していくことが必要である。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。	